



ふれあいの丘天文館だより



★今月の天文情報

●夏の星座の探し方

夏は天の川が美しく見える季節です。天の川は無数の星々の集まりで、街明りのないところでは雲のような帯が南の地平線から東の空高く見えます。

夏の星座はこの天の川にそって輝き、東の空高くに明るく輝く3つの星を見つけることができます。最も明るいのが七夕の織姫「ベガ」、2番目が天の川をへだてて輝く七夕の彦星「アルタイル」、3番目がはくちょう座の十文字の尾に輝く「デネブ」です。

それぞれ「こと座」、「わし座」、「はくちょう座」の1等星で、この3つの星を結んでできる大きな三角形を「夏の大三角」といい、夏の星座を見つけるよい目印となります。

次に、南の空の低いところに目を向けてみましょう。赤く明るい星が見えてきます。「アンタレス」といい、「さそりの心臓」にあたります。前後に大きな「S(エス)の字」に星が連なった、「釣り針の形」をした「さそり座」です。「さそり座」の東には、北斗七星のようなスプーンの形をした星の並び(「南斗六星」)が目印の「いて座」があります。「い

て」とは「弓矢を射る人」のことです。

「いて座」は、私たちの住む「天の川銀河(銀河系)」の中心方向にあり、天の川がもっとも濃く明るく見えるところです。望遠鏡や双眼鏡でのぞくと、星雲、星団が多く見つかります。



■問い合わせ

ふれあいの丘天文館 TEL(28)3254
<http://www.fureai-tenmonkan.jp/>

ふれあいの丘自然観察館だより

今月も「世界のチョウ・日本のチョウ」の中から珍しいチョウを紹介します。

●2500kmも飛ぶ「アサギマダラ」

夏に日本で卵からかえったアサギマダラは日本列島を縦断し、沖縄や台湾まで南下します。その地で繁殖し、子どもたちは不思議なことに、教えてくれる親はいないのに、本能的に春になると北上し、再び日本本土に渡ってきます。



アサギマダラ

昨年ですが、印をつけられたアサギマダラが香港で発見され、約2500kmを飛んだことが確認されました。まさに驚異の飛行能力で、普段フワフワとゆったり飛んでいる姿からは想像できません。季節の風を巧みに利用しているのでしょう。

●数字に強いチョウ?・・・「ウラモジタテハ」

南米に生息する人気の小型のチョウで、はねの裏側の模様が「88」「89」に見える楽しいチョウです。

このチョウの模様が「人間が考え出した数字に似ている」という、ただそれだけのことで



ウラモジタテハ

が、単なる自然界の偶然に人々が親しみを感じているのしかも知れません。

●新展示品「森の映画館」

自然観察館の外観が描かれた展示品に4カ所ののぞきメガネがあり、約1分間の動画を見ることが出来ます。映像の内容は「戦うカブトムシ」「アゲハチョウの一生」「森の忍者」「アリ・アブラムシ・テントウムシの関係」で、子どもたちにも好評です。皆さんも、ぜひのぞいて見てください。なお、映像は企業の無償協力によって上映しています。



森の映画館

●ヘラクレスが市内の小学校へ!

大人気の当館生まれのヘラクレスオオカブトを多くの子どもたちに見てもらうために「移動昆虫BOX」を実施中です。市内小学生の皆さん、学校で世界最大級のカブトをじっくり観察してください。



■問い合わせ

ふれあいの丘自然観察館 TEL(28)3131
<http://www.fureaino-oka.com/shizen/>